

2020年6月15日

報道関係者各位

:DeNA



KEIKYU
京急電鉄

プレスリリース

株式会社ディー・エヌ・エー
三井不動産株式会社
東急株式会社
京浜急行電鉄株式会社

「世界に誇るスポーツタウンへ」 DeNA・三井不動産・東急・京急電鉄が
横浜関内エリアの新たな魅力や賑わい創出を目指す、
「YOKOHAMA Sports Town Accelerator」の募集を開始

株式会社ディー・エヌ・エー（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長兼 CEO：守安功、以下 DeNA）と三井不動産株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：菰田正信）、東急株式会社（本社：東京都渋谷区、取締役社長：高橋和夫）、京浜急行電鉄株式会社（本社：横浜市西区、取締役社長：原田一之）の4社は、2019年7月に概要を発表した DeNA を事業主体として実施する「YOKOHAMA Sports Town Accelerator（ヨコハマスポートタウンアクセラレータ）」プログラム（以下、本プログラム）の参加者募集を、2020年6月15日より開始します。

本プログラムはベンチャー企業と横浜市庁舎跡地の再開発プロジェクト（※）メンバーである4社が横断的に連携し、ベンチャー企業のアイデアと各社が有するネットワークや施設、データやノウハウ、交通手段などの経営資源を掛け合わせ、関内周辺エリアの抱える様々な課題を解決することで新たな魅力や賑わいの創出を目指す、スポーツを軸とした新しいまちづくりの取り組みです。

審査書類提出期限は7月31日まで、9月以降順次実験、協業を行う予定です。本プログラムを通じて関内周辺エリアの未来を共創することで、関内周辺エリアに住む人、訪れる人、働く人、それぞれにとって楽しく、心地よい街の実現を目指します。

※三井不動産株式会社、鹿島建設株式会社、京浜急行電鉄株式会社、第一生命保険株式会社、株式会社竹中工務店、株式会社ディー・エヌ・エー、東急株式会社、星野リゾートから構成されるコンソーシアム「KANNAI 8（呼称：カンナイエイト）」が、2025年中の開業を目指し、横浜市庁舎跡地を再開発するプロジェクトです。

<YOKOHAMA Sports Town Accelerator プログラム概要>

■ 運営体制

事業主体：株式会社ディー・エヌ・エー

協 力：三井不動産株式会社、東急株式会社、京浜急行電鉄株式会社

運営協力：株式会社横浜 DeNA ベイスターズ

後 援：横浜市経済局

■ 実施内容

【実施目的】

ベンチャー企業との共創を通じて、横浜スポーツタウン構想を推進し、関内周辺エリアの抱える様々な地域課題を解決することで、新たな魅力や賑わいの創出を目指すプロジェクトです。関内周辺エリアに住む人、訪れる人、働く人、それぞれにとって楽しめる場所であり、心地よく過ごせる街にするために、関内周辺エリアの未来を共創します。

【募集テーマ】

以下の 5 つのテーマでアイデアを募集します。

- ①楽しさや熱狂の創出 ②居心地の良さの創出 ③関わり合える機会の創出
④想いを実現できる場の創出 ⑤その他、上記①～④以外の新たな魅力や賑わいの創出

【提供リソース】



ネットワーク

4社がそれぞれの業界やグループ
で有するネットワーク



ノウハウ

観光、スポーツ、ヘルスケア、AI、ゲーム、
小売、交通、不動産などの各種事業ノウハウ



施設

スタジアム、駅、商業施設、小売店舗、
ホテル、飲食店、シェアオフィスなど



交通

電車、バス、タクシー



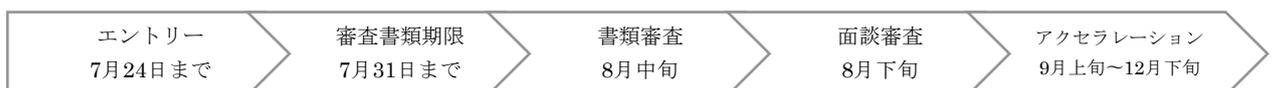
各種データ

スタジアムやスポーツチーム関連データ、
購買データ、交通関連データ、宿泊データ、
サービス利用データ

※提供リソースの内容および提供者は採択されたプランに応じて変動します。

※各種データに個人情報は含まれません。

【募集スケジュール】



【オフィシャルウェブサイト】

<https://ysa.dena.com>